

3. 12月4日調査結果

① 調査区1

気づいた点、評価・分析コメント：

○10月に、関係者以外の者により草が刈られ、ゴミが捨てられ、砂利が置かれた。

この日にゴミを取り除いた。

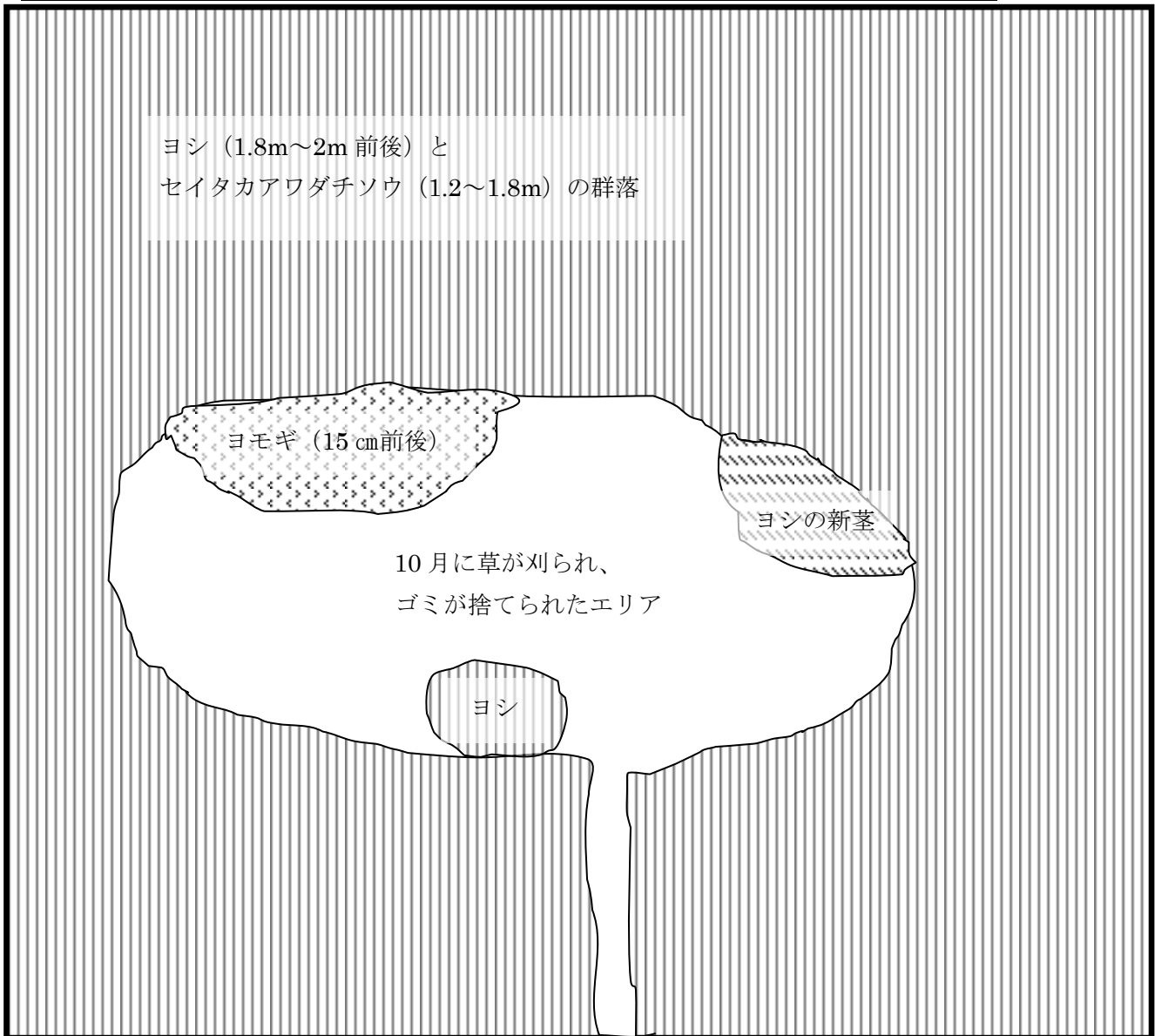
○セイタカアワダチソウとヨシが優先している。

○セイタカアワダチソウの根元に隙間があるため、下草(カタバミ等)の種類は少ないが、数が多い。

書式1 占有度マップ

調査区： 1 調査日： 2011年12月4日 時刻： 15:05～15:30

天候： 晴れ 調査員数： 6人 記録者： 星野



通路

※調査作業効率を上げるため、調査後に、調査区周囲を50cmほど刈り取りを行った。

書式2 生存確認種 1/2

調査区: 1

調査日: 2011年12月4日

記録者: 糸岡

No	種名	確認種	所見	No	種名	確認種	所見
【植物】				【植物】			
1	アカツメクサ			36	ヘクソカズラ		
2	アレチハナガサ			37	ベニバナセンブリ		
3	ウラジロチチコグサ			38	ヘビイチゴ		
4	エノコログサ			39	ヘラオオバコ		
5	オオナモミ	○		40	メヒシバ		
6	オギオバコ	○		41	ヤマイモの仲間		
7	オギ			42	ヨシ		
8	オランダミミナグサ			43	ヨモギ		
9	ガガイモ			44			
10	カザバナ	○		45			
11	カタバミ	○		46			
12	カラスノエンドウ	○		47			
13	ククイモ			48			
14	ギシギシ	○		49			
15	ギョウギシバ			50			
16	キンエノコロ	○		51			
17	サクラの仲間			52			
18	シナガワハギ	○		53			
19	シロツメクサ			54			
20	スズメノカタビラ			55			
21	セイタカアワダチソウ	○		56			
22	セイヨウタンポポ			57			
23	セリ			58			
24	タマガヤツリ			59			
25	チガヤ			60			
26	ツルマメ			61			
27	ニワゼキショウ			62			
28	ノイバラ	○		63			
29	ノボロギク			64			
30	ネズミムギ			65			
31	ハコベの仲間			66			
32	ハルジオン			67			
33	ハルスゲ			68			
34	ヒメコバンソウ			69			
35	ヒロバギシギシ			70			

書式2 生存確認種 2/2

調査区: 1

調査日: 2011年12月4日

記録者: 糸岡

No	種名	確認種	所見	No	種名	確認種	所見
【昆虫類】				【鳥類】			
1	ウンカSP			1	アオサギ		
2	エサキモンキツカメムシ	○		2	オオヨシキリ		
3	オオカマキリ			3	オナガガモ		
4	オンブバッタ	○	緑 オス	4	カルガモ		
5	クビキリギス			5	スズメ	○	
4	コカマキリ			6	ヒドリガモ		
5	ショウリヨウバッタ			7	マガモ		
6	セスジツユムシ			8	ユリカモメ	○	
7	セマダラコガネ			9			
8	チョウセンカマキリ			10			
9	ツチイナゴ			11			
10	ツユムシの仲間			12			
11	ナガコガネグモ			13			
12	ヨモギハムシ			14			
13	フタモンアシナガバチ			15			
14	ベニシジミ			【底生生物・魚類】			
15	ホシササキリ			1	クロベンケイガニ	○	砂利の下に
16	ホソヘリツカメムシ			2			
17	マルカメムシ			3			
18	ヤマトシジミ			4			
19				5			
20				【爬虫類、両生類、その他】			
21				1	オカダンゴムシ	○	砂利の下に
22				2	ガガンボの仲間	○	
23				3	ゲジ	○	
24				4	ニホンマイマイ		
25				5	ハシリグモの仲間	○	
26				6	ビワコカタカイガラモドキ	○	
27				7	ワラジムシ	○	砂利の下に
28				8			
29				9			
30				10			
31							
32							
33							
34							
35							

調査区: 1

調査日: 2011年12月4日

撮影者: 星野

写真 3-1-1 調査区左手より



7月10日撮影↑

【7月調査よりの変化】

ヨシ、セイタカアワダチソウ共に草丈が伸び(1.2m 以上から 1.8～2m 前後に)、ヨシ、及びセイタカアワダチソウの一部が枯れた以外は、変化は見られない。

写真 3-1-2 調査区正面より



7月10日撮影↑

【7月調査よりの変化】

正面より草が刈られ通路が設けられた。

書式3 調査区写真 2/3

写真 3-1-3 調査区右手より



7月10日については、
撮影なし

写真 3-1-4 調査区上の堤防より



7月10日については、
撮影なし

書式3 調査区写真 3/3

写真 3-1-5 草が刈られ、ゴミが置かれた様子(2011年11月10日撮影)



② 調査区2

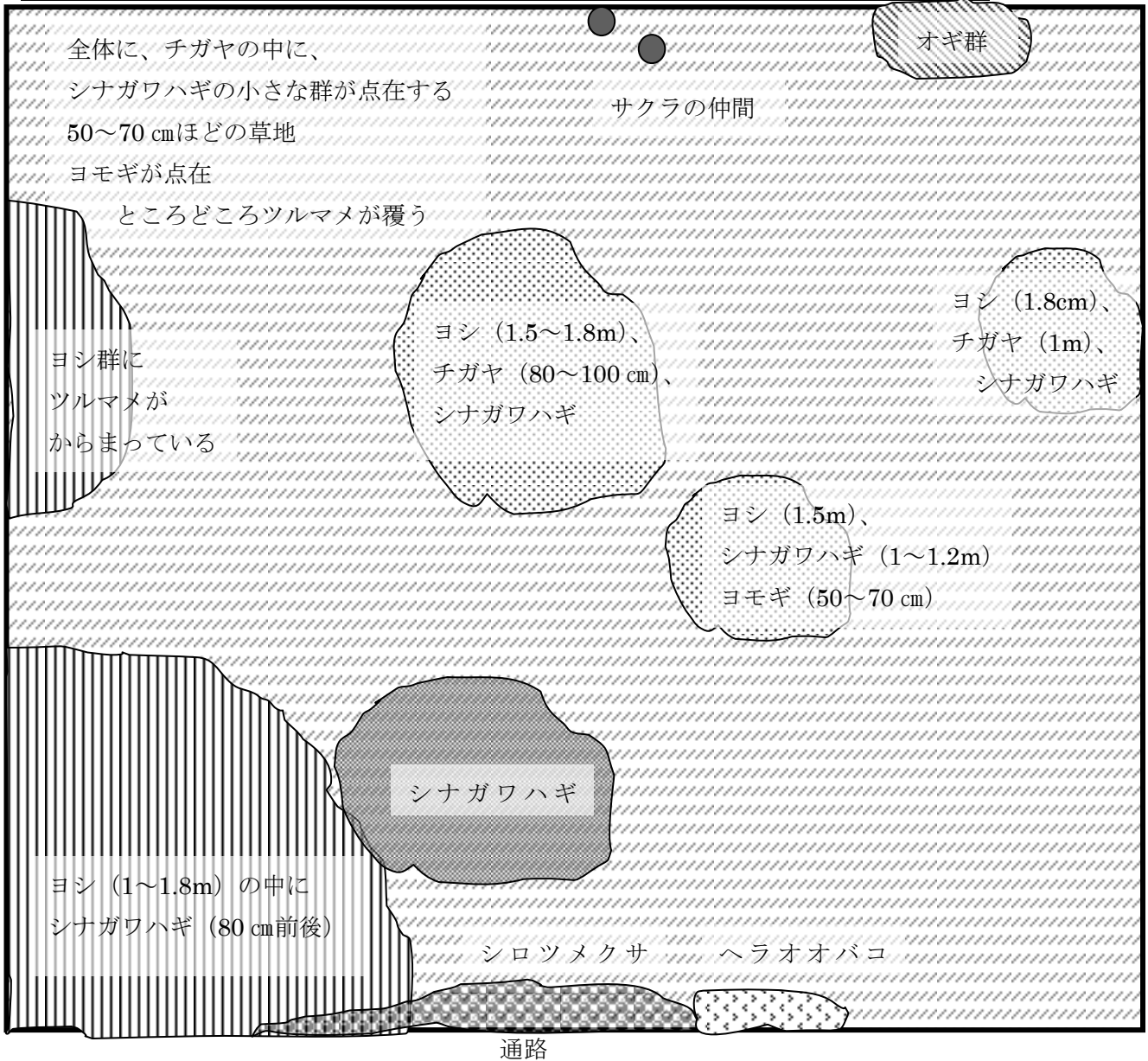
気づいた点、評価・分析コメント：

- チガヤが優先する低層草地在となっている。
 - ツルマメが繁茂し、多種に覆いかぶさる部分が各所に見られる。
ツルマメの下には、抜き取りができなかったセイタカアワダチソウが残っている。
 - 外来種シナガワハギが全体に現れている。
 - 通路に近い部分には、シロツメクサやヘラオオバコ群がある。
- ※関連情報：シナガワハギは5～6年前にも見られた。荒地にまず入ってくる外来種である。

書式1 占有度マップ

調査区： 2 調査日： 2011年12月4日 時刻： 14:05～14:30

天候： 晴れ 調査員数： 6人 記録者： 星野



書式2 生存確認種 1/2

調査区: 2

調査日: 2011年12月4日

記録者: 糸岡

No	種名	確認種	所見	No	種名	確認種	所見
【植物】				【植物】			
1	アカツメクサ			36	ヘクソカズラ		
2	アレチハナガサ			37	ベニバナセンブリ		
3	ウラジロチチコグサ	○		38	ヘビイチゴ		
4	エノコログサ	○		39	ヘラオオバコ		
5	オオナモミ	○		40	メヒシバ		
6	オギオバコ			41	ヤマイモの仲間		
7	オギ	○		42	ヨシ		
8	オランダミミナグサ	○		43	ヨモギ		
9	ガガイモ	○		44			
10	カザバナ			45			
11	カタバミ			46			
12	カラスノエンドウ	○		47			
13	クワイモ			48			
14	ギシギシ	○		49			
15	ギョウギシバ	○		50			
16	キンエノコロ			51			
17	サクラの仲間	○		52			
18	シナガワハギ	○		53			
19	シロツメクサ	○		54			
20	スズメノカタビラ	○		55			
21	セイタカアワダチソウ			56			
22	セイヨウタンポポ	○		57			
23	セリ			58			
24	タマガヤツリ			59			
25	チガヤ	○		60			
26	ツルマメ	○	枯れ	61			
27	ニワゼキショウ			62			
28	ノイバラ			63			
29	ノボロギク			64			
30	ネズミムギ			65			
31	ハコベの仲間	○		66			
32	ハルジオン	○		67			
33	ハルスゲ			68			
34	ヒメコバンソウ	○		69			
35	ヒロバギシギシ			70			

書式2 生存確認種 2/2

調査区: 2

調査日: 2011年12月4日

記録者: 糸岡

No	種名	確認種	所見	No	種名	確認種	所見
【昆虫類】				【鳥類】			
1	ウンカSP			1	アオサギ		
2	エサキモンキツカメムシ			2	オオヨシキリ		
3	オオカマキリ	○	卵	3	オナガガモ		
4	オンブバッタ			4	カルガモ		
5	クビキリギス			5	スズメ		
4	コカマキリ			6	ヒドリガモ		
5	ショウリョウバッタ			7	マガモ		
6	セスジツユムシ			8	ユリカモメ		
7	セマダラコガネ			9			
8	チョウセンカマキリ			10			
9	ツチイナゴ	○	オス	11			
10	ツユムシの仲間			12			
11	ナガコガネグモ			13			
12	ヨモギハムシ	○		14			
13	フタモンアシナガバチ			15			
14	ベニシジミ			【底生生物・魚類】			
15	ホシササキリ	○	メス	1	クロベンケイガニ		
16	ホソヘリツカメムシ			2			
17	マルカメムシ			3			
18	ヤマトシジミ	○		4			
19				5			
20				【爬虫類、両生類、その他】			
21				1	オカダンゴムシ		
22				2	ガガンボの仲間		
23				3	ゲジ		
24				4	ニホンマイマイ	○	死
25				5	ハシリゲモの仲間		
26				6	ビワコカタカイガラモドキ		
27				7	ワラジムシ		
28				8			
29				9			
30				10			
31							
32							
33							
34							
35							

書式3 調査区写真 1/3

調査区: 2

調査日: 2011年12月4日

撮影者: 星野

写真 3-2-1 調査区左手より



7月10日撮影↑
【7月調査よりの変化】
ヨシの草丈が伸びた。

写真 3-2-2 調査区正面より



7月10日撮影↑
【7月調査よりの変化】
ヨシの草丈が伸びた。
台風の影響か、チガヤが
なぎ倒された。
7月調査以降にツルマメが
繁茂した。
10月にセイタカアワダチソウの
抜き取りを行ったが、
ツルマメが覆った下に、
抜き取れずに残った様子が見える。
(緑色に見える部分)

写真 3-2-3 調査区右手より



7月10日撮影↑
【7月調査よりの変化】
チガヤやシナガワハギが
なぎ倒されている様子が
伺える。

写真 3-2-4 調査区上の堤防より



7月10日については
撮影なし

書式3 調査区写真 3/3

写真 3-2-5 チガヤの群にセイタカアワダチソウが点在



写真 3-2-6 ツルマメが覆っている状況



③ 調査区3

気づいた点、評価・分析コメント：

○チガヤが優先する低層草地となっている。

左手は、50～100 cmの草地、中央から右手は、10 cm以下草丈の短い草地となった。

○11月に行った刈り取りにより、セイタカアワダチソウはほぼなくなっている。

○左手草地には、ヨモギやヨシの群落が生息している。

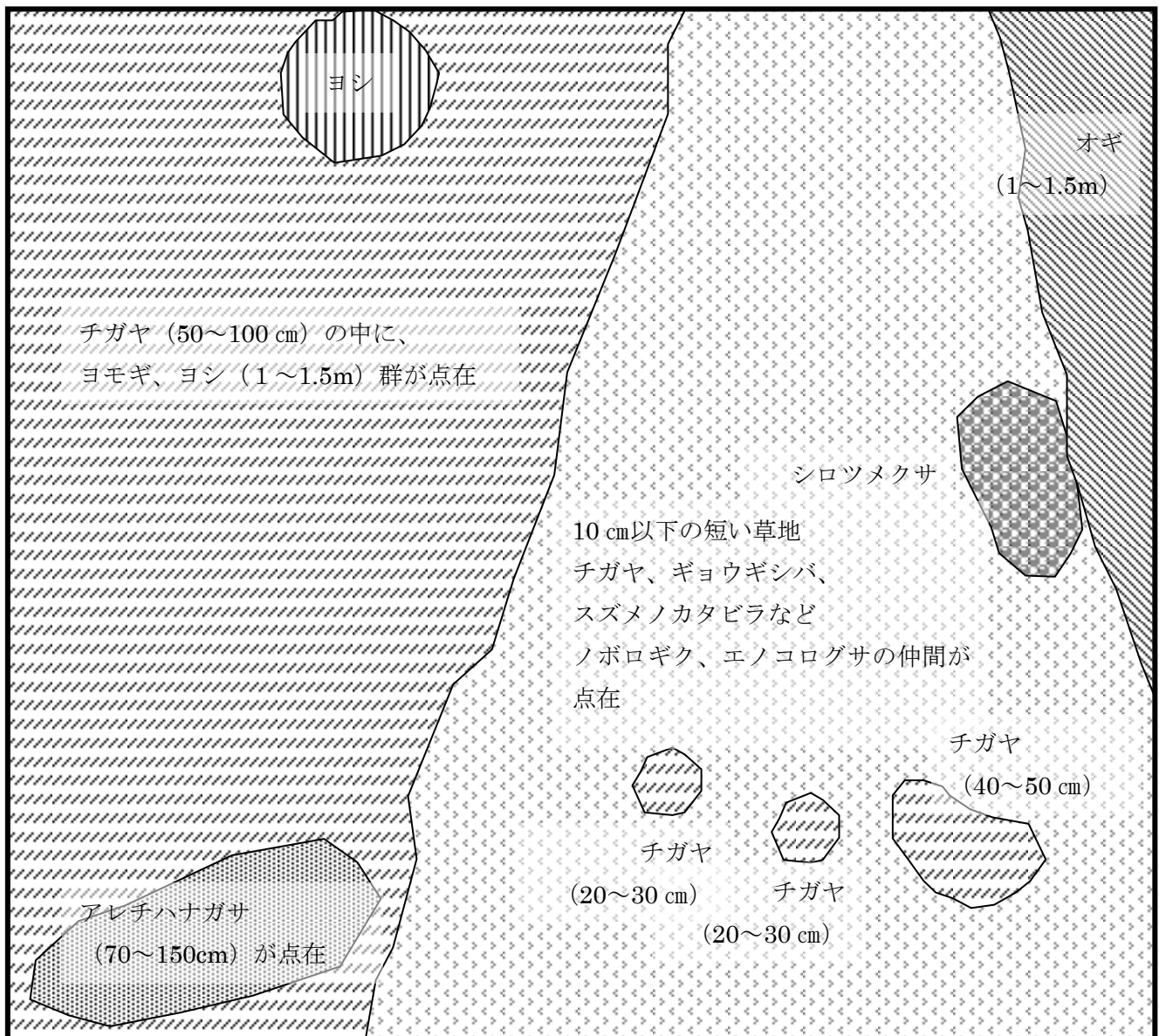
○短い草地には、エノコログサ類、シロツメクサの群落が見られる。

※秋の増水時に水が被った可能性があり、水辺側半分の草丈が低いのはそのことが影響しているかもしれない。

書式1 占有度マップ

調査区： 3 調査日： 2011年12月4日 時刻： 13:35～14:00

天候： 晴れ 調査員数： 6人 記録者： 星野



書式2 生存確認種 1/2

調査区: 3

調査日: 2011年12月 通路

記録者: 糸岡

No	種名	確認種	所見	No	種名	確認種	所見
【植物】				【植物】			
1	アカツメクサ			36	ヘクソカズラ		
2	アレチハナガサ	○		37	ベニバナセンブリ		
3	ウラジロチチコグサ			38	ヘビイチゴ		
4	エノコログサ	○		39	ヘラオオバコ		
5	オオナモミ			40	メヒシバ		
6	オギオバコ			41	ヤマイモの仲間		
7	オギ	○		42	ヨシ		
8	オランダミミナグサ	○		43	ヨモギ		
9	ガガイモ			44			
10	カザバナ			45			
11	カタバミ			46			
12	カラスノエンドウ	○		47			
13	ククイモ			48			
14	ギンギン			49			
15	ギョウギシバ	○	枯れ	50			
16	キンエノコロ	○		51			
17	サクラの仲間			52			
18	シナガワハギ	○	枯れ・生両方	53			
19	シロツメクサ	○		54			
20	スズメノカタビラ	○		55			
21	セイタカアワダチソウ			56			
22	セイヨウタンポポ	○		57			
23	セリ			58			
24	タマガヤツリ			59			
25	チガヤ	○		60			
26	ツルマメ	○		61			
27	ニワゼキショウ			62			
28	ノイバラ			63			
29	ノボロギク	○	枯れ	64			
30	ネズミムギ			65			
31	ハコベの仲間			66			
32	ハルジオン			67			
33	ハルスゲ			68			
34	ヒメコバンソウ			69			
35	ヒロバギンギン	○		70			

書式2 生存確認種 2/2

調査区: 3

調査日: 2011年12月4日

記録者: 糸岡

No	種名	確認種	所見	No	種名	確認種	所見
【昆虫類】				【鳥類】			
1	ウンカSP			1	アオサギ	○	
2	エサキモンキツカメムシ			2	オオヨシキリ		
3	オオカマキリ			3	オナガガモ	○	
4	オンブバッタ			4	カルガモ	○	
5	クビキリギス	○	オス 茶	5	スズメ		
4	コカマキリ			6	ヒドリガモ	○	
5	ショウリヨウバッタ			7	マガモ	○	
6	セスジツユムシ			8	ユリカモメ		
7	セマダラコガネ			9			
8	チョウセンカマキリ	○		10			
9	ツチイナゴ	○	オス	11			
10	ツユムシの仲間	○		12			
11	ナガコガネグモ			13			
12	ヨモギハムシ			14			
13	フタモンアシナガバチ			15			
14	ベニシジミ			【底生生物・魚類】			
15	ホシササキリ			1	クロベンケイガニ		
16	ホソヘリツカメムシ			2			
17	マルカメムシ	○		3			
18	ヤマトシジミ			4			
19				5			
20				【爬虫類、両生類、その他】			
21				1	オカダンゴムシ		
22				2	ガガンボの仲間		
23				3	ゲジ		
24				4	ニホンマイマイ		
25				5	ハシリグモの仲間		
26				6	ビワコカタカイガラモドキ		
27				7	ワラジムシ		
28				8			
29				9			
30				10			
31							
32							
33							
34							
35							

調査区: 3

調査日: 2011年12月4日

撮影者: 星野

写真 3-3-1 調査区左手より



7月10日撮影↑

【7月調査よりの変化】

左手の草地におけるヨシの草丈が7月以降に伸びたことが伺われる。

写真 3-3-2 調査区正面より



7月10日撮影↑

【7月調査よりの変化】

7月には、中央部と右手の草丈に差がなかったが、11月には、中央部は枯れて草丈が短くなり、左手は50cm以上の草原が残っている。

中央部と左手に現れた差の原因については、植物の種類によるものか、或いは、関係者以外の者により刈り取られたためかは、定かでない。水が被った可能性(潮の影響)も考えられる。

写真 3-3-3 調査区右手より



7月10日については
撮影なし

写真 3-3-4 調査区上の堤防より



7月10日については
撮影なし

写真 3-3-5 チガヤの低層草地の中に残ったセイタカアワダチソウ



写真 3-3-6 アレチハナガサ群

